



とくしま 県議会だより

[年4回発行]
第123号

令和6年11月10日
(2024)
編集・発行
徳島県議会

ホームページ

〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地
TEL.088-621-3010 FAX.088-655-2530

▲徳島県議会フォトコンテスト 芸術文化振興議員連盟会長賞 協町高等学校 近藤さくらさん作品「次郎笈まであとひと息」

9月定例会 会期 令和6年9月12日～10月8日

定例会の概要

開会日には、経済成長への投資、魅力あふれる徳島づくり、防災・減災対策の推進などに取り組む令和6年度9月補正予算案などが提案されるとともに、災害対応力の強化、県都のまちづくり、最低賃金の引上げ、県内企業の海外展開支援など重要施策について知事から所信が述べられました。

代表・一般質問では、新ホールの整備や徳島駅北口開発等県都のまちづくり、津波避難困難地域の解消や被災者支援体制の構築等の防災・減災対策、最低賃金引上げに伴う事業者支援や県内企業の海外進出支援、ダムの土砂管理や河川の治水対策、県産農林水産物の輸出拡大や生産者への支援、ひとり親家庭への支援や児童相談所の機能強化等のこども施策、通学区域制の見直し等の教育施策、障がい者支援などについて議論しました。

代表・一般質問の議論を受け、閉会日には、労働者への賃上げに取り組む中小・小規模事業者等への支援や藍場浜公園西エリアにおける新ホール整備に係る補正予算が追加提案され、知事提出議案24件を原案どおり可決・同意しました。

新ホール整備予算に係る審議（閉会日）

補正予算の内容について、質疑の後、7名の議員が賛成、反対の立場から討論。
議長と欠席議員1名、退席議員3名を除く、33名による記名投票が行われ、賛成22票、反対11票で、原案どおり可決。

■補正予算の概要

藍場浜公園西エリア新ホール整備事業	12,000千円
令和7～8年度債務負担行為設定額	750,000千円

藍場浜公園西エリアにおける新ホール整備の推進を図るため、早期整備プラン策定や整備区域確定に向けた測量を実施するとともに、設計費の債務負担行為を設定する。



閉会日の
動画はこちら

主な審議の結果

●可決、同意された議案

○令和6年度補正予算

- 一般会計（3件）

補正予算額は156億1,108万4千円の増額で、補正後の予算は、5,166億393万3千円

- 特別会計（1件）

○条例の制定（1件）

- 生活困窮者自立支援法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

○条例の改正（4件）

- 徳島県総合計画審議会設置条例の一部改正など

○負担金案件（7件）

○人事案件（1件）

○契約案件（6件）

○その他（1件）

提出議案や各議員の表決態度については県議会ホームページに掲載しています。

徳島県議会 定例会の概要 検索



大学との包括連携協定事業

徳島文理大学

●議員による講義

議員が大学において、総合政策学部生約30名を対象に、県政に係る課題や議員活動に関する体験などについて講義を行いました。（7月16日）

●学生の議場見学

総合政策学部生約40名が、県議会の概要説明を受けた後、議場ほか議事堂の見学を行いました。（7月18日）

●カードゲーム「2050カーボンニュートラル」体験会

ゲーム会場を日本と見立て、政府や金融機関、電力会社、商社などのチームに分かれて、カーボンニュートラルの実現と経済の両立を目指して行動するシミュレーションゲームを実施しました。学生と議員計約30名がペアを組み、他のチームとさまざまな交渉をしながら、ゲームを進めることで、脱炭素社会に対する理解を深めるとともに、互いの交流を図りました。（9月12日）



四国大学

●学生と議員との意見交換会

議員が大学において、経営情報学部生約100名と地域の課題解決策等について意見交換を行いました。（7月29日）

●学生の本会議傍聴

経営情報学部生7名が県の政策過程を学ぶため、本会議代表質問の議論を傍聴しました。（9月19日）

●パネル展

9月定例会期間中（9月12日～10月8日）、議事堂1階ホールにおいて、運動部の活動を紹介するパネルを展示しました。



議会インターンシップ

徳島文理大学総合政策学部生1名、四国大学経営情報学部生1名が県議会の会派及び議員の活動を体験するインターンシップに参加しました。（9月3日、6日、9日、12日、19日）

■題字「とくしま県議会だより」：四国大学との包括連携協定に基づく事業により同大学文学部書道文化学科の学生に書いていただきました。

代表・一般質問から

代表質問 9/19



おかだりえ

岡田理絵

徳島県議会自由民主党
鳴門選挙区

最低賃金の引上げに伴う県内
中小企業・小規模事業者の支援を

Q

最低賃金の大幅な引上げは喜ばしい一方、大きな経営負担となる可能性も懸念される。中小企業・小規模事業者が適切に対応し、事業継続できるよう、追加の支援策を実施すべき。

A 知事

中小・小規模事業者の賃上げの財源不足といった課題に対応する激変緩和措置として、一時金を助成する新たな支援策の今定例会最終日の追加提案に向け、詳細な制度設計を進めている。

困難な状況にあるひとり親家庭
への医療費助成制度の拡充を

Q

ひとり親家庭では、厳しい経済状況から保護者が通院を我慢する場合もある。ひとり親家庭の悲願である医療費助成制度の拡充として、新たに保護者の通院費も対象とすべき。

A 知事

ひとり親家庭の健康を支えるため、保護者の通院費を対象とした医療費助成制度の拡充に向け、医療現場等の意見を聞くとともに、市町村との調整を図りつつ、新たな制度作りに取り組む。

動画はこちら



その他の質問

1

新ホール整備について

2

国際定期便就航の機会を生かしたインバウンド・アウトバウンドの需要の創造・発掘について

3

避難所のQOL向上に向けた取組について

4

公立高校普通科の通学区域制の見直しについて

ほか2問

代表質問 9/19



しげきよよしゆき

重清佳之

徳島県議会自由民主党
海部選挙区

津波避難困難地域の早期解消に
向けた大胆な施策を

Q

南海トラフ巨大地震発生の切迫性が高まる中、県民の大切な命を守るため、津波避難困難地域の解消に向け、他県も参考に市町村を後押しする大胆な施策を一刻も早く講ずるべき。

A 知事

市町村の決断を後押しするため、津波避難タワーや避難路等の整備を強力に推進する新たな支援制度を創設する。市町村の来年度当初予算編成を見据え、速やかに概要を示す。

県南部の特色を生かした
医療提供体制の確保を

Q

県南部では、即戦力となる医療従事者の確保が必要不可欠。今後も海部病院を核として、地域の魅力や特性を十分に生かし、医療課題の解決に向けた取組を展開するべき。

A 知事

海部病院を^{#2}サーフ・ホスピタルとして、多様な働き方を提案するなど、医療従事者の確保を図る新たな挑戦に取り組む。また、県内初となる医療MaaS^{#3}導入に向け、実証実験を行う。

動画はこちら



その他の質問

1

災害時の対応力強化に資する情報共有システムについて

2

児童相談所の更なる機能強化について

3

農林水産業の振興について

4

阿南芸芸自動車道の整備促進について

ほか3問

代表質問 9/19



いかわりゅうじ

井川龍二

自由民主党県民会議
徳島選挙区

持続可能な企業経営のため県内
中小企業・小規模事業者へ支援を

Q

原材料価格の上昇、人手不足のほか、最低賃金の大幅な引上げなど、厳しい経営環境の中、県内中小企業・小規模事業者をしっかりと支援するとともに、支援策を周知すべき。

A 経済産業部長

生産性向上のため、DX推進の設備等の投資を支援し、大幅な賃上げを行う場合は補助率を引き上げる。HP・SNS等の活用に加え、金融機関をはじめ関係団体等との連携を強化し周知する。

新ホール整備とまちづくり構想に
ついて、山積みである課題の解決は

Q

藍場浜公園西エリアでの新ホール整備及びまちづくり構想に関する様々な課題の現状は。特に、県都魅力度アップ推進ワーキンググループでの協議結果と今後の見通しの報告を。

A 知事

ワーキンググループでの協議を踏まえ、徳島市長との会談で、藍場浜公園西エリアでの新ホール整備、協定の見直し、まちづくりの基金設置などの取組方針に合意。徳島市と連携し早期整備に取り組む。

動画はこちら



その他の質問

1

持続可能な県立高校の在り方について

2

子育て支援策の情報発信の充実について

3

強度行動障がいがある方への支援について

4

鮎喰川をはじめとする徳島市西部の治水対策について

ほか1問

代表質問 9/19



とうじょうきょうこ

東条恭子

新しい県政を創る会
徳島選挙区

子どもが性暴力の加害者・被害者・
傍観者にならないために

Q

子どもから訴えや相談があった場合、教職員の正しい対応が子どもの安全安心につながる。令和7年度までが生命（いのち）の安全教育の強化期間だが、教職員研修をどう行うのか。

A 教育長

全ての教職員が生命の安全教育を正しく理解し、実践力を高めることが重要。専門的知識を持つ人権教育指導員の拡充に努め、活用促進するとともに、校内研修の充実を各校に働き掛ける。

誰もが生きやすい徳島に向けて
全ての人権問題の総点検を

Q

創設された県パートナーシップ宣誓制度の周知に加え、性的マイノリティ^{#5}の相談窓口や居場所を設置するとともに、県人権教育・啓発に関する基本計画を早急に改正すべき。

A 生活環境部長

他の当事者や支援者との交流会の開催等、困難の解消に向けた支援を実施。頭在化する新たな人権課題の状況を踏まえ、計画改正についても県民等から、幅広く意見を伺っていく。

動画はこちら



その他の質問

1

新ホール整備について

2

県政への県民参画について

3

困難な状況にある子どもへの支援について

4

障がい者の就労支援について

代表質問 9/20



さわもとかつひこ

沢本勝彦

グローバルplus
阿南選挙区

最低賃金引上げに向け、事業者
に寄り添った支援体制の構築を

Q

国や県において様々な賃上げ支援制度が設けられているが、十分活用されていない。事業者が自身のニーズに合った制度を適時・的確に利用できる仕組みが必要ではないか。

A 知事

国へ支援制度の要件緩和や運用改善を求めるとともに、県主体で、新たな支援策の創設と併せ、支援制度の情報発信や各種相談に一元的に対応するワンストップ窓口設置を検討する。

移住希望者に選ばれ、
住み続けてもらえる徳島県に

Q

昨年度の県内への移住者数は過去最多を更新したが、転出超過に歯止めは掛かっていない。全国との競争に打ち勝つ、一步踏み込んだ移住定住促進策を打ち出すべき。

A 生活環境部長

東京23区に加え、大阪圏を対象とした、徳島ならではの移住支援金制度を検討。また、定住促進に不可欠な地域の受入環境づくりに向け、移住支援団体等を対象とした新たな研修を実施する。

動画はこちら



その他の質問

1

災害中間支援組織を生かした被災者支援体制の構築について

2

保健所の機能強化について

3

那賀川の治水対策について

4

新ホール整備について

ほか3問

一般質問 9/20



ふるのつかさ

古野司

徳島県議会自由民主党
那賀選挙区

長安口ダムの長期的堆砂対策は、
現場・住民目線のもと進めるべき

Q

長安口ダムの堆砂土砂のダンプトラック運搬は長期間に及ぶため、住民の交通安全を著しく損なわないよう国と県が連携し、現場・住民目線で土砂運搬の最善な方法を検討すべき。

A 知事

那賀川水系河川整備計画策定プロセスの中で、国が計画する土砂運搬用のベルトコンベアと一体に進める、国道195号の交通^{#1}隘路区間解消に向けた道路トンネルの共同事業を検討する。

本県の花き産地の維持を
図るための振興策は

Q

高齢化と離農が進み、本県の花きの産出額は、ピーク時から半減している。今後、本県の花きの産地を維持していくため、後継者や若者にとって就農しやすい環境を整備すべき。

A 農林水産部長

開花安定技術の開発や、消費拡大に向けた展示商談会を開催するとともに、遊休ハウスを有効活用したコスト低減により、新規就農者等が花き生産に取り組みやすい環境を整備する。

動画はこちら



その他の質問

1

こどもメディカルラリーについて

2

EV充電インフラの整備について

3

県内中山間地域をはじめとする地域の公共交通の維持・確保について

4

空き家を対象とした犯罪被害防止対策について

ほか2問

一般質問 9/20



ふる かわ ひろ し
古川 広志

公明党徳島県議団
徳島選挙区

マチ★アソビの見直しに
関する県の見解を問う

Q 高い誘客力と経済効果があり、徳島の活性化に成功した取組であるマチ★アソビの見直しに関して、公費負担額の妥当性や進め方などへの指摘があるが、県の見解は。

A 副知事

特定のイベントへの偏重を見直し、県下全域に、にぎわいを創出するため、県内で開催される民間主導の持続可能なイベントに対し、公平・公正に支援していく。

通学区域制の廃止は、しっかりと意見聴取した上で段階的に

Q 通学区域制は、前回の見直しの効果や影響を更に詳しく分析し、子供や先生の意見を聞いた上で、大きな問題が起こらないように段階的に廃止するべきではないか。

A 教育長

高校生との意見交換会や、中学・高校の生徒や保護者、教諭へのアンケートを行い、有識者会議で他県の先行事例などを踏まえ更に議論を深め、今年度中の提言取りまとめに向け取り組む。

その他の質問

- 1 自治体の連帯による平和への潮流を
- 2 人口減少社会への対応について
- 3 県庁における契約事務機能の強化について
- 4 新ホール及び徳島駅北口開発について

動画はこちら



ほか1問

一般質問 9/20



ふ かわ あつし
扶川 敦

護民官
板野選挙区

藍場浜での新ホール実現に向け施設の運用改善など検討を

Q 新ホールはあわぎんホールに隣接する藍場浜公園西エリアで文化振興の拠点として早期整備を進めることがベスト。あわぎんホールとの一体的活用をどのように図るのか。

A 知事

新ホールの搬入・搬出動線を両施設で共有し、大規模催事では、あわぎんホールをサブ会場として一体活用。新ホールの1階客席のみ利用の安価な料金制度を整えるなど、柔軟な運営に努める。

最低賃金引上げによる各事業所への支援は、実効性のある施策で

Q 生産性向上や業種転換が難しく、弱い立場にある、あらゆる分野の中小・零細企業については、一時的ではなく、継続的・戦略的に経営を支えられるよう支援を強化すべき。

A 経済産業部長

商工団体等で、相談窓口の開設等、継続的に支援。県では事業承継を促すM&A促進奨励金を今年度創設し、今定例会、大幅な賃上げを行う事業者の生産性向上を支援する予算を提案している。

その他の質問

- 1 車両基地・鉄道高架事業について
- 2 障がい者の人権を守る在宅介護サービスの在り方について
- 3 木造住宅の耐震化工事に係る相談窓口について

動画はこちら



常任委員会

9月定例会委員会の概要

特別委員会

●総務委員会

公安委員会関係では、阿波吉野川警察署の移転整備について、**生活環境部・労働委員会関係**では、最低賃金改正に係る緊急アンケート結果を踏まえた今後の支援について、**知事戦略公室・企画総務部関係**では、県都のまちづくりにおける、県市協調による取組方針及び新たな基金の性格、新ホール整備と車両基地移設の関連性についてなど、それぞれ質疑及び提言がありました。

●経済委員会

経済産業部関係では、最低賃金引上げに伴う中小企業・小規模事業者への今後の支援、新たな地域商社設立について、**観光スポーツ文化部関係**では、新ホール整備における財源及び徳島駅北口開発との関連性について、**農林水産部関係**では、農林水産物等輸出拡大に向けた今後の取組、国道195号崩落の農林業への影響についてなど、それぞれ質疑及び提言がありました。

●文教厚生委員会

教育委員会関係では、通学区域制の見直しに関し、高校魅力化に向けた取組と入試制度の検討、特別支援学校の通学支援について、**こども未来部関係**では、こども計画素案の検討状況、里親委託の取組、こども誰でも通園制度の今後の進め方について、**保健福祉部・病院局関係**では、災害時における社会福祉施設の対応力強化についてなど、それぞれ質疑及び提言がありました。

●県土整備委員会

県土整備部関係では、徳島駅北口設置に係る車両基地移設に伴う周辺環境への影響や民間活力を呼び込む整備について、**企業局関係**では、新ホール建設に伴う藍場町地下駐車場指定管理者との協議の進捗状況及び駐車場経営のめどについて、**危機管理部関係**では、南海トラフ地震臨時情報に係るアンケート結果を踏まえた対応についてなど、それぞれ質疑及び提言がありました。

●まちづくり・魅力向上対策特別委員会

県都のまちづくりに関し、知事と徳島市長との合意の状況、まちづくり構想検討の経緯、新たな基金の性格などについて質疑がありました。そのほか、新ホール整備に係る、旧文化センター跡地における埋蔵文化財の調査や現計画の事業者への対応、県市基本協定の取扱い等、鉄道高架事業による効果、大阪・関西万博を契機とした誘客などについて質疑及び提言がありました。

●防災・環境対策特別委員会

住宅耐震化に関し、木造住宅耐震改修支援制度の概要や今後の取組などについて質疑がありました。そのほか、南海トラフ地震臨時情報に係るアンケート結果を踏まえた今後の対応、市町村の備蓄状況の公表の趣旨、巨大地震を見据えた広域火葬体制の確保、地域防災推進員養成研修の受入拡充、太陽光パネルの大量廃棄への備えなどについて質疑及び提言がありました。

●地域活性化対策特別委員会

県産品の魅力向上と販路拡大に取り組む新たな地域商社の設立に関し、組織体制や収支計画、事業内容、予算の内訳などについて質疑がありました。そのほか、とくしま・丸ごと移住交流フェアの内容及び市町村の参加促進、県移住交流ポータルサイトの現状及び利便性向上、ワンストップで外国人材をサポートする仕組みなどについて質疑や提言がありました。

●こども未来・安心対策特別委員会

学校給食費の無償化に関し、県内の状況、無償化に向けた課題、県の取組について質疑がありました。そのほか、0～2歳児の保育料の無償化に向けた取組、不登校対策、医療従事者養成確保事業の取組状況及び成果、シルバー人材センターにおける最低賃金引上げの影響、高齢者施設の新型コロナウイルス感染症への対応などについて質疑及び提言がありました。

普通会計決算認定特別委員会

令和5年度徳島県一般会計歳入歳出決算並びに各特別会計歳入歳出決算の認定について審査するため、普通会計決算認定特別委員会を設置しました。

委員長 岡田 理絵 **副委員長** 木下 賢功
委員 須見 一仁、大塚 明廣、井下 泰憲、長池 文武
仁木 啓人、近藤 諭、梶原 一哉、扶川 敦

企業会計決算認定特別委員会

県が行う病院事業、電気事業、工業用水道事業、土地造成事業、駐車場事業及び流域下水道事業の令和5年度決算の認定等について審査するため、企業会計決算認定特別委員会を設置しました。

委員長 井村 保裕 **副委員長** 浪越 憲一
委員 福山 博史、平山 尚道、井川 龍二、立川 了大
竹内 義了、坂口 誠治、達田 良子、川真田琢巳

用語
解説

- ※1 **【QOL】** Quality of Lifeの略。生活の質のこと。
- ※2 **【サーフ・ホスピタル】** 仕事とサーフィンをともに楽しめる環境が整備された病院のこと。
- ※3 **【医療MaaS】** MaaSは、Mobility as a Serviceの略。オンライン診療機能を持った専用車両が地域を訪問し、病院や診療所が遠く、交通手段も限られている患者の自宅や最寄りの公民館等で、対面診療やオンライン診療等が受けられるサービスのこと。
- ※4 **【徳島県パートナーシップ宣誓制度】** 一方または双方が性的マイノリティである2人が、お互いを人生のパートナーとし、相互に協力して継続的に生活を共にすることを約束した関係であることを県に宣誓し、県がパートナーシップ宣誓書受領証等を交付することで、2人の関係を公的に証明する制度のこと。
- ※5 **【性的マイノリティ】** 性的指向（恋愛感情又は性的感情の対象となる性別についての指向をいう。）が異性のみではない者又はジェンダーアイデンティティ（自己の属する性別についての認識に関するその同一性の有無又は程度に係る意識をいう。）が出生時に届けられた性と異なる人たちのこと。
- ※6 **【南海トラフ地震臨時情報】** 南海トラフ沿いで異常な現象が観測された場合や地震発生の可能性が相対的に高まっていると評価された場合等に、気象庁から発表される情報のこと。

県外視察の概要



詳しくはこちら

● 常任委員会

総務委員会

・ 7月24日～26日（秋田県）

秋田県庁を訪問し、洋上風力先進地である秋田県全体の整備状況等について調査するとともに、はまなす展望台にて洋上風力発電施設を視察しました。そのほか、土崎みなと歴史伝承館、能代バスケミュージアム、五城目町地域活性化支援センターなどの取組について調査しました。



はまなす展望台

文教厚生委員会

・ 7月30日～8月1日（愛知県、大阪府、兵庫県）

介助犬総合訓練センターシンシアの丘を訪問し、介助犬の育成や普及・啓発活動について説明を受けた後、施設内を視察しました。そのほか、愛生館グループ複合施設コリン、瀬戸SOLAN小学校チャイルド・ケモ・ハウスなどの取組について調査しました。



介助犬総合訓練センターシンシアの丘

経済委員会

・ 7月22日～24日（北海道）

洞爺湖町役場を訪問し、温泉街全体がコスプレ会場と化す北日本最大規模の漫画アニメ関連イベントのTOYAKOマンガ・アニメフェスタに関する取組について調査しました。そのほか、カナモトホール、北海道立総合研究機構栽培水産試験場などの取組について調査しました。



洞爺湖町役場

県土整備委員会

・ 7月17日～19日（長崎県、熊本県、大分県）

益城町役場を訪問し、熊本地震という大規模災害からの復旧・復興の取組について説明を受けた後、益城町復興まちづくりセンターにじいる及び布田川断層帯（谷川地区）を視察しました。そのほか、長崎県及び大分市のまちづくりの取組などについて調査しました。



益城町復興まちづくりセンターにじいる

● 特別委員会

8月27日～28日に予定していた、防災・環境対策特別委員会及びこども未来・安心対策特別委員会の県外視察については、台風の影響により中止しました。

まちづくり・魅力向上対策特別委員会

・ 9月3日～4日（大阪府）

関西エアポート（株）を訪問し、関西国際空港の現状と地域連携の取組について説明を受けた後、新国際線出発エリアと令和6年9月オープンの新国際線保安検査場を視察しました。そのほか、(公社)2025年日本国際博覧会協会、(一財)関西観光本部の取組について調査しました。



関西国際空港

地域活性化対策特別委員会

・ 8月6日～7日（大分県、福岡県）

(株)タカミヤを訪問し、北九州釣りいこか倶楽部の釣りを通じた地域活性化の取組について調査しました。そのほか、大分県の東九州自動車沿線の現状と課題、広域交通ネットワーク構想実現への取組、宇佐市の移住・定住支援の取組について調査しました。



(株)タカミヤ

お知らせ

議会見学のご案内



議事堂を見学してみませんか。電話でお申し込みの上、見学申込書を提出してください。

TEL 088-621-3010



申し込み方法等は
こちら

【見学に来られた方々】

- うずしお女性学級
- 徳島大学サマースクール ほか

【県議会小学生社会見学ツアー参加校】

- 阿南市立今津小学校（9月12日）
- 上板町立松島小学校（9月19日）
- 阿波市立八幡小学校（9月20日）



詳しくは
こちら

本会議傍聴・委員会視聴のご案内

本会議は傍聴、常任・特別委員会はテレビモニターで視聴することができます。傍聴・視聴は、当日、先着順に受け付けていますので、議事堂1階受付までお越しください。また、本会議開催日は、未就学児の託児サービス（事前申込み要）も行っています。

詳しくはこちら /



本会議傍聴



託児サービス



委員会視聴

県議会 令和6年11月定例会の日程

- 11月26日 …… 常任委員会
- 11月27、28日 …… 特別委員会
- 11月29日 …… 本会議（開会）
- 12月4日 …… 本会議（代表質問）
- 12月5日 …… 本会議（代表・一般質問）
- 12月6日 …… 本会議（一般質問）
- 12月10～13日 …… 常任委員会
- 12月16、17日 …… 特別委員会
- 12月20日 …… 本会議（閉会）

※日程は予定であり、変更する場合があります。

議会トピックス

- こども未来・安心対策特別委員が、Web会議システムを使用して、食の安全及び食育の取組について勉強会を開催しました。（10月2日）

議員連盟の活動

- 国際交流議員連盟が、2024年度外国人による徳島県日本語弁論大会に出席し、徳島県議会国際交流議員連盟会長賞を贈りました。（7月21日）
- 徳島南部自動車道・阿南芸芸自動車道建設促進議員連盟が、徳島県及び関係市町と合同で、国土交通省四国地方整備局を訪問し、徳島南部自動車道及び阿南芸芸自動車道の早期整備に向けた重要要望を行いました。（8月2日）
- 徳島自動車道整備促進議員連盟が、徳島県及び徳島自動車道四車線化促進期成同盟会と合同で、国土交通省四国地方整備局と西日本高速道路（株）を訪問し、徳島自動車道の4車線化に関する重要要望を行いました。（8月2日）
- スポーツ振興議員連盟が、第78回国民スポーツ大会SAGA2024（佐賀県）及び各種施設等（福岡県）を視察しました。（10月4日～6日）

中学生県議会セミナー

鳴門市鳴門中学校において、議員2名が県議会の仕組みや議員の仕事について、授業を行いました。（7月12日）

中学生の皆さんより

- ・これまで政治は遠いものだったけど、僕たちの意見も聞いてくれることが分かりました。僕たちももっと意見を言っていかなければと思いました。
- ・丁寧に話をしてもらって、議員さんを身近に感じることができました。



議会クイズ

正解者の中から抽選で10名様に、鳴門産糸わかめと味付けのりをプレゼントいたします。

Q

徳島文理大学との包括連携事業の一つとして、カードゲーム「2050カーボンニュートラル」体験会を実施し、〇〇〇社会に対する理解を深めるとともに、互いの交流を図りました。さて、〇〇〇とは次の3つのうちのどれでしょう。

- 1 情報化
- 2 脱炭素
- 3 高齢化

応募方法

はがき、電子メール又は応募フォームでクイズの答え、住所、氏名、電話番号、「とくしま県議会だより」についての感想を記入の上、次の宛先までお送りください。

※ご応募は、お一人につき1通までとさせていただきます。

応募先

〒770-8570（住所記入不要）徳島県議会事務局 政策調査課
✉ tokushimakengikaidayori@pref.tokushima.lg.jp

締切

令和6年12月20日（金） はがきの場合は消印有効（当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。）※お寄せいただいた個人情報は、プレゼントの送付とそれに係る業務のみに利用します。

ヒントは紙面上にあります！

応募フォームはこちら



鳴門産糸わかめ(15g)、味付けのり(ハモ魚器・鳴門鯛の魚器・鳴門うず塩)4点セット

肉厚で、シャキッとした歯ごたえ！一度食べると納得の美味しさの鳴門産糸わかめと瀬戸内海産の柔らかく香り高い初摘み海苔と高級魚、うず塩のコラボレーションをお楽しみいただける味付け海苔をセットで！



【提供】徳島県漁業協同組合連合会

とくしま議会だより第122号の議会クイズの答えは、1 託児でした。